



「住みたい牧之原市」に向けて 第2次総合計画の策定

新たな自治体経営の方針

市では現在、平成19年から27年を計画期間とする「第1次総合計画」に基づき、まちづくりに取り組みを進めています。しかし、策定後、リーマンショックや東日本大震災など、大きな社会の変化があり、状況への迅速な対応が求められる中、計画期間を1年前倒し、27年度から、新たな課題に対応した「第2次総合計画」によるまちづくりを進めます。少子高齢化、経済の低迷、危機管理意識の高まりなどの

市では、平成27年度を開始時期とする「第2次牧之原市総合計画」の策定を進めています。総合計画とは、市のまちづくりにおける最上位に位置付けられる計画です。今後、市を「どのようなまちにするか」「そのためにどのようなことをするか」などを総合的にまとめ、「住みたいと思える」牧之原市像を描いていきます。

問い合わせ 企画課 本間 ☎(23) 0040

世の中の変化は、人口減少や活力の低下など地域社会にも大きな影響を及ぼしています。こうした背景に対応し、魅力ある市を築くための「新たな自治体経営の方針」とするため、計画策定にさまざまな工夫を盛り込んでいきます。

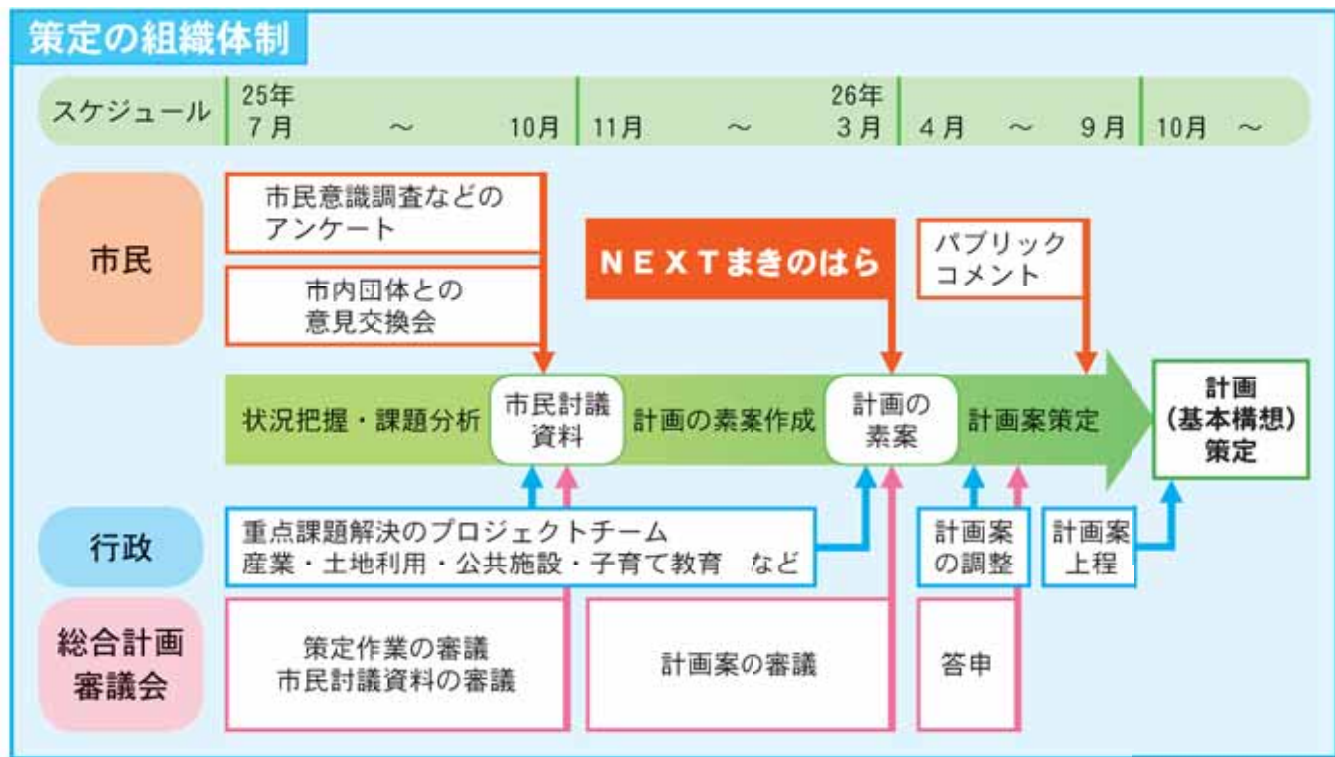
【総合計画のポイント】

- 市全体でつくる 市民、団体、企業、行政などのさまざまな分野の意見を集め、市民が主体となって計画をつくる。
- 選択と集中の徹底 重点的に取り組む分野を明確にする。

確にして、人財や予算などを投入していく。
●高い実現性の確保 現状や課題などを事前に整理し、解決に向けた取り組みなどを具体的に盛り込む。

多くの市民の意見を反映

計画に幅広い市民の皆さんの意見を反映するため、1500人を超える多くの方から意見を集めました。これらの意見を基に計画を組み立て、平成26年9月の策定を目指します。



「NEXTまきのはら」始動

「NEXT（ネクスト）まきのはら」とは、これまでの市民の皆さんなどからのさまざまな意見を基に、市民が主体となって市の将来の姿を検討する会議です。

市民討議資料の作成

これまで集めた多くの意見を年齢別、分野別などに分析したものに、総合計画の全体構成の案などを盛り込み、総合計画を策定するための基礎資料となる「市民討議資料」を作成しました。
*資料は、ホームページにも掲載しています。配布を希望される方は、企画課まで連絡してください。

NEXTまきのはら

市内のさまざまな団体に所属する人たちに、有識者などを加えた30人で構成する市民会議「NEXTまきのはら」を開催します。

この会議では、市民討議資料の内容を基に、「市の将来像」「重点的に取り組む分野」「取り組みの方向性」などを議論し、今年の3月を目途に具体的な計画の案としてまとめたいきます。

「NEXTまきのはら」開催概要

	日時	会場	内容
第1回	12月17日(火) 午後1時30分～	榑原文化センター 3階 大会議室	市民討議資料の説明 メンバーによる意見交換会
第2回	1月21日(火) 午後1時30分～	榑原庁舎4階 会議室2～4	グループワーク(市が重点的に取り組むこと)
第3回	2月18日(火) 午後1時30分～	相良庁舎4階 大会議室	グループワーク(個別の施策の方向性)
第4回	3月19日(水) 午後1時30分～	榑原庁舎4階 会議室2～4	協議結果のまとめ

*傍聴は自由にできますので、希望者は企画課に連絡してください。

第一回目の会議で出されたさまざまな意見

昨年12月17日、榑原文化センターで、第一回目の会議が開かれました。メンバーへの市民討議資料



の説明の後、グループに分かれ、「説明を受けて感じたこと」「今後、市が重点的に取り組むこと」について意見交換をしました。メンバーからは、「働く世代の仕事を増やし税収を上げる」「市の印象を向上させるための施策づくり」「定住人口を増やすには」などの意見が出されました。この会議で出た意見を各団体に持ち帰り、計画策定に活かしていきます。

「市民全体会議」の開催

総合計画策定の取り組みを紹介いたします。
日時 2月4日(火) 午後7時～午後9時
会場 いづら
*直接会場にお越しください。対象 どなたでも
内容 ▼第一部「NEXTまきのはら」の状況報告▼第二部「講演」地方分権社会における総合計画の在り方」講師 日詰一幸静岡大学教授



▶誰もが「住みたい」と思える市に向けて(イラスト:森田亜衣子さん)